## 町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



12か月の 亮 著

切り絵は紙とナイフさえあれ ば、すぐに始められる。身近で 楽しい表現です。 ねこの可愛さを感じてください。

薫風や女相撲の力瘤

柿若葉納屋に遣りし父の

神 排

句

大道虫年金暮しの令和か

山嵜加代子 佳代美

五月雨や道のり遠き父母の墓

ふる里を包んで届く粽かな

### 町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



**「やましたくんは** しゃべらない\_ 中下 賢二 著

学校で1度もしゃべったこと がない男の子がいます。 ちょっと変だけど気になる。 そんな男の子のお話です。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中から

おすすめのものを選びました。

バラエティに富んだ本を紹介します。

# 島 歌

夕暮れの電線に黒ポリからみゐて鴉飛び来て共に 幸せ語る 葉桜の木漏れ日グランドに珠を追ふ友らそれぞれ

植うる待つ水を張る田のさざ波が朝日にきらめく 順番が迫りて競に引く仔牛心あるがに目を合はせ 和子

軒下に植ゑたる苦瓜の細き苗勢ひづきて競ふごと 静かなる峡 坂之下典子

杖をつきわが歩きゆく道端に紫陽花盛る朝日をう 中山タマエ

おり

けえて とく消えたり 退院せしわが側に来てハイタッチ曾孫は疾風のご 浜田美代子

雨の日に遊びし猫は土砂色の足型つけて愛車の上 松枝

石の段立てば青空雲なくて独り占めして梔子匂ふに

薫風や「令和」を説ける指導主事 薫風や子の泣き止みしおまじない かな 

場所有る

[俳句]

今の世は考へ見れば場所有るや年老い同士出会い

ここから消ゆる

飛来する燕を我家に招く孫花二つ紫陽花青きうす月夜

人学の式辞に入れし「令和」

立夏かなコバルトブルーの水平線蛍舞ふ蚊帳の中なる闇の過去柿若葉令和のシール樽酒に

迫肥大 口後堂

創 世 短 歌 会

らいながら きみどりの色づく前の紫陽花をひと枝手折るため 見られて 草津にて湯もみの板を我は持ち熱湯もむなり人に

朝の露払いて原に摘むワラビ折ればたちまち折り 父の日の今日も過ぎたり子は誰も音沙汰あらず日 りあかそう 先の事は先でもよろしここはまず酒でも飲んで語 歩け歩けと が暮れてゆく カッコー」 **人間は気まずい時に咳払いする事ありて吾もなし** が交差点にて鳴きており人に遅れず 宮元

口湿る

## 般 炸

短歌

村芝居シマの合羽に三度笠粋な青年今は八十路に

今なく 中仮屋辰子紫陽花のほのかな紅にそっとふれ友と歩いた道は 春なり ポイ捨ての川に浮きたるプラごみは雨降るたびに 人正に生まれし叔母はまだ健在令和迎えて今だ青

明けやらぬ闇 杯に虫の声

宗方

hima Bungei ながしまぶんげ